

西(西中だより

No. 2 八女市立西中学校
令和2(2020)年 6月29日

学校が再開して、1ヶ月が経ちました

5月25日から学校が再開して、1ヶ月となりました。学校は段階的に再開しました。5/25~26は4限授業のみ、5/27~29は4限授業で給食あり・昼休みあり・掃除あり・部活動ありでした。そして、6月1日からは西中学校の通常の校時で学校生活を送り、6月20日からは土日の部活動ができるようになり、今日に至っています。

学校は再開することができましたが、新型コロナウイルス感染症の感染にかかわる問題は、まだ続いています。「西中だより No.1」でお伝えしましたように、本校といたしましては可能な限りの感染拡大防止対策を講じて教育活動を実施しているところです。

この新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関わることで大事なものは、一人一人が正しく判断し、互いに適切な行動をとることだと考えます。そのためには、新型コロナウイルス感染症について、正しく知っておくことが必要です(裏面に、参考資料を載せています)。そして、「なぜ、そのような対策をとるのか」をよく理解しておく必要があります。



社会的距離を互いにとる

咳やくしゃみなどで鼻水やだ液が飛び散りますが、このときに飛び散る5ミクロン以上の水滴[鼻水やだ液]を飛沫(ひまつ)と言います。飛沫の飛び散る距離は2mほどなので、飛沫が届かない距離を互いにとると感染を防ぐのに有効です。ちなみに、互いに手を伸ばしたら届く距離がおおよそ2mとされており、互いに手を伸ばして手が届かなければ2m以上離れていると言えます。 * 5ミクロンは0.005mm

マスク着用

鼻や口をマスクでおおうことで、咳やくしゃみなどによる飛沫をマスクが防ぎます。声を出すときなどでも飛沫が起こりますので、それも防ぎます。したがって、社会的距離(ソーシャルディスタンス)が十分にとれないときは、マスク着用は感染を防ぐのに有効です。

対面を避ける

飛沫は、鼻や口の前方向に出るので、できるだけ対面(真正面)することを互いに避けます。

換気をする

集団感染の一因に「換気の悪い密閉空間」があり、この対策として、換気を行います。できるだけ窓やドアが開けた状態で過ごすようにしますが、雨や風で窓が開けられない場合やクーラーなどを使用する場合は、少なくとも1時間に2回は換気をする必要があります。したがって、雨の日やクーラーを使うときに、教室では、休み時間と授業途中に換気をすることで、1時間に2回は換気をします。雨が激しくて屋外に面している窓が開けられないときは、廊下と教室の間のドアや窓を開けて換気をします。

手洗いをこまめにする

手についているかもしれないウイルスを流水で流したり、石けんでウイルスの膜をこわしたりして、手についているかもしれないウイルスの個数を感染の心配がないぐらいに減らします。手洗いは、場所移動をするときや給食(食事)の前後、共用物を使用する前後、トイレの使用の前後などで行います。また、例えば、家に帰ったらすぐに手洗いをすると、ウイルスを家に持ちこむことを防ぐのにも有効です。

誰も自分が感染することを望んだり、他の人に感染させることを望んだりしません。新型コロナウイルス感染症にかかわって、私は「もしかしたら自分は感染しているかもしれない」ということを念頭におき、対策することを納得して「自分のために」「他の人のために」行動するようにしています。そして、そのような中でも、対策を講じながら工夫してできることを発見するよう努めています。

新型コロナウイルス感染症の問題は、まだ解消の見通しが立たない状況ですが、感染拡大防止対策に関わり、引き続き、生徒のみなさんをはじめ保護者・地域の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

(文責 木村彰男)

問1 「新型コロナウイルス」とは、どのようなウイルスですか。

「新型コロナウイルス (SARS-CoV2)」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスが含まれます。

ウイルスにはいくつか種類があり、コロナウイルスは遺伝情報としてRNAをもつRNAウイルスの一種(一本鎖RNAウイルス)で、粒子の一番外側に「エンベロープ」という脂質からできた二重の膜を持っています。自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えることができます。

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができません。表面に付着するだけと言われています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、物の種類によっては24時間~72時間くらい感染する力をもつと言われています。

手洗いは、たとえ流水だけであったとしても、ウイルスを流すことができるため有効です。石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、更に有効です。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りやすいと言われているので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールも同様に脂肪の膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。

問2 新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか。

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。(WHOは、一般に、5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶと報告しています。)

「飛沫感染」とは： 感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染することを言います。

「接触感染」とは： 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染することを言います。WHOは、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存するなどとしています。

(引用：厚生労働省HP「新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)」)